

まちごととファクトリー

事業のポイント

■ 小さな地域での起業は、「まち」との連携を柱に「しごと」を組み立てることが大切。地域の中でしごとを創りだし、地域を少しずつ変えていく。そんな取組を応援し、地域の新しい担い手を創り出す場が「まちごととファクトリー」。

事業の概要

1. 事業の目的

本事業は、徳島大学、徳島新聞社、徳島県信用保証協会の連携により、地域で「まちごと」を創り、実践するアクターを創り出すことを目的とした事業で、3年目となった平成29年度は、徳島大学フューチャーセンター『A.BA』を拠点に幅広い人々のアイデアを集める「まちごとと研究室」、少人数でのコンセプトづくり・ビジネスモデルづくりをする「まちごと実践塾」を行った。前半は「とくしま創生アワード」との連携を意識したコンセプトづくり、10月からは徳島大学生も参加してビジネスプランづくりとプレゼンテーションという新しい試みを取り入れた。

2. 事業の取組状況

①キックオフセミナー（研究室1）

日時：平成29年6月3日（土） 13時30分～16時30分

場所：徳島大学フューチャーセンター

内容はタウンミーティング(p.7)を参照。

②まちごと実践塾フェイズ1<コンセプトづくり>

実践塾1：6月24日（土）、実践塾2・研究室2：7月15日（土）

@徳島大学フューチャーセンター

実践塾3：9月3日（日）@にしあわ地域

まちごと実践塾フェイズ1では、徳島県内で起業を志している人、地域を元気にする取組をしてみたい人を対象にまちごととのコンセプトづくりを支援し、受講生11名が参加した。

実践塾1は、まちごととのコンセプトにあったビジネスのコンセプトづくり。先輩起業家、まちごととファクトリー卒業生らのレクチャー、プランづくりのグループワーク。

実践塾2・研究室3は、一般参加者も交えて、とくしま創生アワードのサポーターで、全国各地で起業家支援を続ける株式会社ハノイ・アドバンスド・ラボの佐藤道明氏を迎え、ビジネスプランの意見交換。

実践塾3は、県西部（にしあわ地域）の「まちごと」起業家を訪問する「にしあわエクスカージョン」を行った。

③まちごと実践塾

フェイズ2<ビジネスモデルづくり>

実践塾4：10月14日（土）、実践塾5：11月11日（土）、実践塾6：12月9日（土）

@徳島大学フューチャーセンター

実践塾7：12月19日（火）@徳島大学創成学習スタジオ



実践塾1

事業代表者・連絡先

山中 英生（徳島大学理工学研究部 教授理事／地域連携担当副理事）

〒770-8502 徳島市南常三島町1-1

tel: 088-656-9752 fax: 088-656-9880

e-mail: chkoukenc@tokushima-u.ac.jp

まちごと実践塾フェイズ2は、受講生を新たに募集して再開。16名が参加し、ビジネスプランのブラッシュアップや様々なプレゼンテーションを体験、実践することで実現力を身につける機会となった。

実践塾4は、徳島県信用保証協会の里見創業推進アドバイザーによる創業の心構えやビジネスプラン作成に関する講座。個人毎に収支計画・資金計画を実際に立て、グループワークで中身をブラッシュアップ。

実践塾5は、とくしま創生アワードのサポーターから株式会社ファンドウィッチの早瀬志都加氏、株式会社電脳交通の近藤洋祐氏を講師に迎え、受講生のビジネスプランの発表に対して、講師や参加者からコメントをもらった。

実践塾6は、地域の先輩起業家でありまちごととファクトリー2期生のカフェ&カルチャークレヨン藤田梢氏、同じく2期生のIn Between Bluesの永原レキ氏を交えて意見交換。また、起業へ向けての課題を解決するディスカッションを行った。

実践塾7は、徳島大学生物資源産業学部1年生の授業の中で、受講生6名がビジネスプランの発表を行った。



実践塾5

④クロージングセミナー（実践塾8・研究室3）

日時：平成30年1月27日（土） 13時30分～17時00分

場所：徳島大学フューチャーセンター

まちごと実践塾の受講生が自分の事業計画をポスターにまとめて発表。ゲストと参加者が一緒に、受講生が考えたまちごとについて評価やコメントを行った。

続いて、株式会社レイションの祁答院弘智氏、TTA+A 高橋利明建築設計事務所の高橋利明氏、一般社団法人アンド・モアの飛田久美子氏、オウライ株式会社の西崎健人氏をゲストに迎え、まちごとをつくる「つながり」を議論した。



クロージングセミナー